平成 29 年度事業報告書

社会福祉法人大里ふくしむら

＜総　括＞

平成29年度は、報酬改定や制度改正など大きな変更は無かったものの、介護を取り巻く環境の変化により、様々な影響を受ける一年となりました。特に、ショートステイやデイサービスなど、在宅サービスの利用者の減少が顕著でありました。

また、サービス付き高齢者向け住宅など類似施設の増加によっても影響が大きく現れています。高齢化が急速に進む中、在宅介護の限界・介護離職防止のために、受け皿となる施設の建設はこれからも続くと思いますが、人手不足によるサービスの低下等解決すべき課題が山積しています。

特養では、入所要件が要介護3以上となり、入所者の重度化が進み看取り介護も急速に増え現場の負担が益々重くなっています。処遇改善の効果もまだまだ低く、人材確保としてはほど遠い状況にあります。

こうした中で、今年度は介護ロボットの導入等、最新技術を活用した業務の効率化や負担の軽減に取り組んできましたが、その成果は未だ限定的であります。今後も、計画的・継続的に取り組んでいかなければならないと考えています。同時に、高齢者の活用や外国人技能実習生なども中長期的な取り組みとして必要となっています。

急速に変化する経済・社会の中で、厳しい競争に晒されながら困難な課題に直面していますが、社会福祉法人としての使命と責任を果たしていかなければなりません。

様々なニーズに対応し、質の高い信頼される施設づくりを目指して、改善・改革の取り組みが強く求められていることを実感する年度でありました。

＜主な事業実績＞

月	法人本部	特養・ショート	デイサービス	居宅介護支援
4月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) お花見外出	施設運営会議 各種委員会活動 お花見外出	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
5月	決算処理 監事監査	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 鯉のぼり飾り 花ぞのだより発行	施設運営会議 各種委員会活動 運動会 グラウンドゴルフ大会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
6月	資産変更登記 現況報告提出 理事会・評議員会 (決算・事業報告) (その他諸報告)	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回)	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議

7 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 納涼祭	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
8 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 花ぞのだより発行	施設運営会議 各種委員会活動 納涼祭	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
9 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 用土地区敬老会 用土小交流事業① 利用者職員健康診断 花ぞの敬老会 消防避難訓練	施設運営会議 各種委員会活動 消防避難訓練 職員健康診断	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
10 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 日帰り旅行 花ぞのだより発行 用土小交流事業②	施設運営会議 各種委員会活動 外出行事 グラウンドゴルフ大会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
11 月		施設運営会議 各種委員会活動 冬イルミネーション ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 用土小交流事業③	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議 オレンジカフェ
12 月	理事会 （第1次補正予算） （経理規定改定について） （その他諸報告）	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) クリスマス会 用土小交流事業④	施設運営会議 各種委員会活動 クリスマス会	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議
1 月		施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 獅子舞	施設運営会議 各種委員会活動 初詣	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議 オレンジカフェ
2 月		施設運営会議 各種委員会活動	施設運営会議 各種委員会活動	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議

		ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 花ぞのだより発行 職員健康診断	職員健康診断	
3 月	理事会・評議員会 （来年度予算・事業計画） （各種規則改定について） （その他諸報告）	施設運営会議 各種委員会活動 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ(月 2 回) 防災訓練	施設運営会議 各種委員会活動 ひな祭り 消防避難訓練	カンファレンス(随時) 寄居町ケアマネ会議 オレンジカフェ

＜職員の状況＞

・在籍状況（平成 30 年 3 月 31 日現在／人）

	介　護	看　護	相談員	支援 専門員	管理 栄養士	その他	合　計
常勤	38	3	2	4	1	6	54
非常勤	11	1	0	0	0	18	30
合　計	49	4	2	4	1	24	84

・ 入退職状況（平成 29 年度／人）

	介　護	介護(非)	看　護	看護(非)	ケアマネ	その他	合　計
入　職	5	1	1	1	1	3	12
退　職	5	2	0	0	1	2	10

＜特別養護老人ホーム＞

特養では、入所者の重度化に伴い看取りケアを希望する方が増えたため、入院者が減少したが、待機者減少の影響を受けて次の入所者の決定まで時間がかかり、結果的に空床期間が増加して稼働率が低下した。一方、入所者の重度化は、褥瘡や感染症のリスクを増加させ、職員の負担増加を招いている。職員の求人活動を積極的に行ったが、思うように人材が集まらず、今後の人手不足対策や業務の効率化を目的として介護ロボット（見守りセンサー）や移乗ロボットを導入したが、その効果については未知数であり、今後継続した取り組みや検証が必要である。

・入退所状況（人）

入所元		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
入所	病院	1			1		1	1				3		7
	老健	1	1							1				3
	他施設等			1						1			1	3
	家庭	1	1	1	1						1	1		6
合計		3	2	2	2		1	1		2	1	4	1	19

退所先		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所	病院					1			1					2
	他施設等													0
	死亡	1	3	1		2	3	2	3		3	2	3	23
合計		1	3	1		3	3	2	4		3	2	3	25

・入所期間(平成 30 年 3 月 31 日現在／人)

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年以上	合計
入所中の利用者の在籍期間	23	14	9	7	3	18	74

・年齢・性別(平成 30 年 3 月 31 日現在／人)

	～64歳	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90歳～	合計	平均	最低	最高
男	1	0	1	3	3	4	2	14	81.7	63	98
女	1	2	1	7	7	7	35	60	89.7	58	103
合計	2	2	2	10	10	11	37	74	85.7		

・要介護度(平成 30 年 3 月 31 日現在／人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均
男	0	1	2	8	3	14	3.9
女	0	3	13	21	23	60	4.1
合計	0	4	16	31	23	74	4.00

・受入れ地域(平成 30 年 3 月 31 日現在／人)

	男	女	合計	比率
寄居町・深谷市	10	43	53	72.6%
その他県内	3	12	15	20.2%
県　外	0	6	6	8.0%
合計	13	61	74	100.8%

・入所待機者状況（人）

	平成 28 年 3 月	平成 29 年 3 月	平成 30 年 3 月
要支援 1～要介護 2	0	0	0
要介護 3 以上	28	25	18
合　計	28	25	18

・稼働状況（特養のみ／人）

H29	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	2209	2271	2208	2268	2230	2148	2236	2177	2264	2274	2012	2292	26589
稼働率(%)	98.2	97.7	98.1	97.5	95.9	95.5	96.2	96.8	97.4	97.8	95.8	98.6	97.1
H28	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
延べ人数	2177	2251	2188	2294	2306	2193	2284	2167	2270	2281	2066	2289	26766
稼働率(%)	96.8	96.8	97.2	98.7	99.2	97.5	98.2	96.3	97.6	98.1	98.4	98.5	97.7

＜ショートステイ＞

ショートステイでは、利用者数・稼働率共に前年度を大きく下回ってしまった。前年度まではロングショートによる利用者も多く、稼働率をけん引していたが、他事業所（主に入所系）が増加したことにより、潜在的な入所ニーズが表面化し、本来のショートステイ利用が減少したものと思われる。一方で、ロングショートの減少により急な受け入れが可能になるなど、柔軟な対応が可能となり、他事業所との連携が図れるようになった。今後は、柔軟な受け入れ体制、介護ロボットの導入などによるサービスの質の向上を図り、新規利用者確保に取り組む必要がある。

・稼働状況（ショートのみ）

H29	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実人員	17	21	17	15	18	21	21	14	15	16	20	16	211
延べ人数	170	192	143	136	162	186	222	151	146	143	151	172	1974
稼働率(%)	110	124	95	88	105	124	143	101	94	92	108	111	108.2
H28	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
実人員	17	20	19	15	16	20	17	18	14	14	18	18	206
延べ人数	202	232	207	220	211	239	221	233	202	167	167	195	2496
稼働率(%)	134.7	149.7	138.0	141.9	136.1	159.3	142.6	155.3	130.3	107.7	119.3	125.8	136.7

・稼働状況（全体）

H29	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
特養 延べ人数	2209	2271	2208	2268	2230	2148	2236	2177	2264	2274	2012	2292	26589
ショート 延べ人数	170	192	143	136	162	186	222	151	146	143	151	172	1974
稼働率 (%)	99.1	99.3	98.0	97.0	96.5	97.3	99.1	97.0	97.2	97.5	96.6	99.4	97.8

・要介護度（２９年度合計／人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
男	0	0	4	2	3	4	1	14	2.71
女	1	3	6	7	10	5	5	37	2.64
合計	1	3	10	9	13	9	6	51	2.68

＜委員会活動等＞

・褥瘡感染症対策委員会

利用者の重度化に伴う褥瘡のリスクに対応するため、ケアの経過をデータ化して効率的な治療が図れるように見直した。

現場主体の感染症対策を作成し、29 年度は利用者のインフルエンザ感染を 1 名も出すことなく予防することができた。

・サービス向上委員会

広報活動を通して、利用者および家族へ施設での生活の様子について知らせるとともに、介護保険制度などについての情報提供を図るなど、地域や家族へのコミュニケーションを通じ信頼関係の構築を図った。

・安全対策委員会

ひやり・はっと報告の集計、分析によりリスク管理を進めて事故の防止を図った。防災訓練等の計画実施を行い、防災備品の在庫管理も行った。

・機能訓練委員会

朝の体操のバリエーションを増やすとともに、午後の時間帯にも体を動かす時間を設けることで機能訓練の時間を増やすことができた。

・身体拘束廃止委員会

毎月のユニットでの見直し会議の他、毎月リーダー級以上の職員での検討会を開催し、身体拘束廃止または減少に向けて取り組んだ。

・行事レク委員会

季節行事の実施と、冬のイルミネーションの設置、点灯を行った。外出行事に参加できる利用者の減少に伴い、施設周辺への散歩など身近な外出機会を各ユニットごとに増やして、気分転換と楽しみのある日常生活を送っていただけるよう取り組んだ。

＜デイサービス＞

デイサービスは前年度に続いて利用者数が減少した。サービス付き高齢者向け住宅等の増加により、今までデイを利用していた方も介護度に関わらず入居出来るため、多くの利用者が他事業所に移ってしまい、稼働率に大きな影響を及ぼしている。こうした状況に伴い、設備などの入れ替えや新たな取り組みを行うなどサービスの見直しを図っているところであるが、競争が激化している中、新規利用者を獲得するためには、幅広い積極的な営業活動や、サービスの差別化を図る必要がある。今後も利用者アンケートなどを行い、質の高い、「選ばれるデイサービス」づくりを進めていきたい。

・利用実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延べ人数	548	602	578	616	619	597	562	596	620	561	513	613	7025
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	25	24	27	311
1 日平均	21.9	22.2	22.2	23.6	22.9	22.9	21.6	22.9	23.8	22.4	21.3	22.7	22.5

・要介護度（平成 30 年 3 月 31 日現在／人）

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	1	0	8	11	4	1	0	25
女	6	4	15	9	11	4	4	53
合計	7	4	23	20	15	5	4	78

・年齢別（平成 30 年 3 月 31 日現在／人）

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
男	0	0	2	3	8	5	4	22
女	0	0	3	5	11	15	22	56
合計	0	0	5	8	19	20	26	78

・地域別（平成 30 年 3 月 31 日現在／人）

	寄居町		深谷市	美里町	その他	合計
	用土地区	その他				
利用者数	45	27	4	2	0	78

＜居宅介護支援センター＞

居宅介護支援事業では、今年度では唯一利用者が増加した事業となった。高齢化により要介護者が増加しているため、今後も利用者の増加が見込まれるが、居宅介護支援事業においても他事業所との競争が厳しくなっており、差別化を図るため質の高いサービスを継続して提供して行かなければならない。また、介護サービスだけでなく地域や事業者間の交流など地域貢献活動を積極的に実施し、幅広い在宅支援事業を行う必要がある。そのため、今後ケアマネージャーの増員も検討して行きたい。

・要介護度（平成 30 年 3 月 31 日現在／人）

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	3	2	8	5	2	0	2	22
女	6	5	15	9	11	4	6	56
合計	9	7	23	14	13	4	8	78

・地域貢献事業の実施

寄居町および地域包括支援センターの後援を受けて、認知症カフェ「オレンジカフェ」を開催した。老人保健施設「やまざくら」と交互に隔月の開催にて、花ぞので開催するカフェでは、介護のプロとして認知症を患う高齢者およびそのご家族に来所いただき、情報交換と認知症ケアのアプローチを実施した。30 年度は名称を「スマイルカフェ」として、特養の介護職員と共同して取り組んでいる。

＜ボランティア受入れ＞

今年度も、ボランティア慰問や学生ボランティアを積極的に受け入れるとともに、地域の小学校との交流をさらに推進させた。具体的には、これまでの定期交流や運動会の出席のみならず、学校内の発表会の招待などを受けて、より多く子どもたちと交流する機会を設けることができ、相互交流の促進につながった。また、高校生のインターンシップにも協力し、将来の介護職員候補として積極的な受け入れを行い、介護現場の体験を支援した。また、施設イベントでのボランティア慰問の受け入れなど、外部からの団体受け入れが増加した半面、地域のボランティア（清掃、利用者との交流など）の受け入れ実績はなかった。今後は、地域のボランティア開拓のため、地域との交流をさらに進めていく必要がある。

・中学生ボランティア体験（寄居中学校など 4 名）
・用土小学校5年生定期交流（30 名）および運動会への出席
・高校生職場体験（2 名）
・お話ボランティア　虹の会（毎月第1火曜）
・ボランティア慰問
（あゆみ幼児園、ヘモレレフラスタジオ、フォークダンススマイル、尺八、民謡愛好会、玉淀園、チアダンスクラブサニーズ）

＜研修事業＞

・外部研修

	研修名	参加者	主催	場所
4 月	苦情解決セミナー	相談員	県社協	彩の国すこやかプラザ
5 月	新任職員研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	中堅職員研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
6 月	チームリーダー研修	ユニットリーダー	県社協	彩の国すこやかプラザ
	褥瘡ケア研修	介護・看護	小川赤十字病院	小川赤十字病院
7 月	摂食嚥下研修	管理栄養士	県社協	彩の国すこやかプラザ
	介護支援専門員研修	介護支援専門員	県社協	建産連研修センター
8 月	メンタルヘルス研修	生活相談員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	感染症基礎研修	看護職員	県社協	さいたま共済会館
9 月	摂食・嚥下研修会	管理栄養士	熊谷保健所	熊谷地方庁舎
	口腔ケア研修	介護職員	医療法人康寧会	花ぞの施設内
	ターミナルケア研修	介護職員	県社協	埼玉教育会館
10 月	看護職員研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	認知症介護基礎研修	介護職員	県社協	さいたま市文化センター
11 月	認定調査員現任研修	介護支援専門員	県福祉部高齢介護課	彩の国すこやかプラザ
12 月	中堅フォローアップ研修	介護職員	県社協	彩の国すこやかプラザ
	事務員研修	事務員	ストレスチェック制度	農業共済会館
1 月	新任職員フォローアップ研修	介護職員	老施協	彩の国すこやかプラザ
2 月	非常災害時研修	課長	県社協	彩の国すこやかプラザ
	生活相談員研修	相談員	老施協	さいたま市文化センター

・内部研修

	研修名	対象者	内容
4 月	新入職員研修	新入職員	法人理念他、体制や心構えについて
	認知症介護研修	全職員	認知症に関する基礎知識
5 月	接遇マナー研修	初級職員	リーダー級職員によるマナー研修
	コミュニケーション研修	介護職員	職員間連携、チームプレイについて
6 月	身体拘束廃止研修	介護職員	身体拘束の見直し及び廃止について
	運転研修	ドライバー職員	運転技術の確認と事例検討
	リスクマネジメント研修	介護・看護職員	事故分析と管理について
7 月	急変時対応研修	介護・看護職員	急変時の対応と責任ある行動について
	褥瘡予防研修会	介護・看護職員	褥瘡予防対策とケアについて
8 月	機能訓練研修	介護・看護職員	立位・移乗動作訓練について
	喀痰吸引研修	夜勤職員	喀痰吸引業務手順・注意事項
9 月	感染症・食中毒研修	介護・看護職員	感染症予防全般について
	防災訓練	全職員	通報・避難・消火訓練
10 月	認知症介護研修	介護・看護職員	認知症ケアに伴う対応について
	運転研修	ドライバー職員	運転技術の確認と事例検討
11 月	感染症対策研修Ⅰ	全職員	感染症対策（インフルエンザ）について
	リスクマネジメント研修	介護・看護職員	入浴について
12 月	感染症対策研修Ⅱ	全職員	感染症対策（ノロウイルスについて）
1 月	機能訓練研修	介護・看護職員	関節可動域訓練について
	感染症対策研修	全職員	感染症対策実施状況確認と見直し
2 月	身体拘束廃止研修	介護職員	身体拘束廃止について
3 月	防災訓練	全職員	通報・避難・消火訓練